

シンポジウム実施要項

1. 開催趣旨

南関東の弥生中・後期土器をめぐって2003年9月に開催した「シンポジウム南関東の弥生土器」から4年が経過した。その間、千葉県や埼玉県で弥生後期土器の良好な資料が蓄積され、研究も進展し、今また問題の整理と共有をはかるべき状況にある。今回は「久ヶ原式・弥生町式」に焦点をあてて、問題を再び整理するとともに、今後の指針をも探りたい。

2. テーマ 「南関東の弥生後期土器を考える」

3. 主催 関東弥生時代研究会・埼玉弥生土器観会・八千代栗谷遺跡研究会 (代表 石川日出志) (代表 柿沼幹夫) (代表 常松成人)

4. 会場 明治大学駿河台校舎アカデミーコモン9階 309A号教室

5. 日時 平成20年1月13日(日) 10時から4時30分

6. 資料代 1,500円

7. 登壇者

司会・進行	法政大	小倉淳一
パネリスト	小出輝雄	「武蔵国中・南部地域の後期土器」
	大村直	「久ヶ原式と山田橋式」
	浜田晋介	「朝光寺原式土器の編年と共伴土器」
	柿沼幹夫	「北武蔵中央部の後期土器」
	高花宏行	「下総台地の南関東系土器」
	安藤広道	「東京湾西岸～相模川流域の後期弥生式土器の検討」

7. 日程

9時30分	受付開始
10時	開会挨拶・シンポジウムの趣旨説明 実行委員長 石川日出志
10時10分	発表1 小出輝雄 東京・埼玉南部
11時00分	発表2 大村直 千葉
11時30分	発表3 浜田晋介 神奈川
(12時00分から13時00分	休憩)
13時00分	発表4 高花宏行 千葉
13時30分	発表5 柿沼幹夫 埼玉
14時00分	発表6 安藤広道
(14時30分から14時40分	休憩)
14時40分から16時30分	シンポジウム
16時30分(最長で17時まで)	閉会
17時から20時	懇親会